

水を守ろう



▲ブナの苗木を植樹する児童の皆さん



▲植樹後の記念撮影(写真は仙南西小の皆さん)

'09七滝「水の森」記念植樹

町の大切な水資源を育む水源涵養林の保全と森林の役割を知ってもらいために6月9日、六郷東根の七滝山中腹で、町内全小学校の4年生児童をはじめ、保護者、町議員など約320人が参加し、ブナの苗木150本の植樹が行われました。

開会式では、松田町長が「皆さんに大切なものがあるように、美郷町では水を大切にしています。この植樹は、自分たちのためだけでなく、今ある水環境を次の世代へ引き継ぐバトンとなります。」と呼びかけました。



▲木の成長を想像しながら、コースターづくり挑戦しました

仙北東森林組合の方たちから植樹方法の説明を受けた児童の皆さんは、苗木の活着を良くするため、土に炭の粉を混ぜてから、1本1本を丁寧に植えていきました。

また、植樹のあと弘沢公園で行われた「森と水の学習会」では、丸太を使った「コースターづくり」にも挑戦しました。

「おばあちゃんと一緒にブナの木を植えて楽しかったです。大きく育ててほしいです。」と六郷東根小の石田実希さん。また、六郷小の岡田啓吾くんは「木を植えることで、水の大切さを知ることができました。」と感想を話してくれました。

水辺環境クリーンアップ作戦

仙南地区を流れる出川いでかわで6月7日、地域住民の皆さんやみさぼーラー、町職員など約80人が参加して、河川クリーンアップ作戦が行われました。

参加者は3班に分かれ、役場仙南庁舎そばの水上橋から国道13号線までの約2kmを2時間かけて清掃。川沿いだけでなく、ゴムボートを使い川底に沈んでいるゴミも拾いました。

回収されたゴミは、2トトラック2台分。空き缶などの家庭ゴミや肥料袋などの農業ゴミばかりでなく、古タイヤも捨てられていました。

町では、不法投棄の根絶を目指し、継続してパトロールや啓発活動などを実施していきます。



▲国道13号線に架かる出川橋付近でのクリーンアップ

水を楽しもう

水辺めぐりウォーキングが6月14日、六郷・千畑地区の水辺をコースに行われ、町内外から約50人の皆さんが参加しました。

御台所清水やニテコ清水などの六郷湧水群、千畑地区土崎の清水や野際清水を歩いた参加者の皆さんからは「水辺は気持ちいい。」「普段何気なく見ている景色も、歩きながらだと新鮮に見える。」「などの声が聞かれ、美郷の初夏を満喫していました。

また、ウォーキングのあとには、千畑交流センターで地域栄養士の鈴木陽子さんによるヘルシーメニューの紹介が行われました。

次回の水辺めぐりウォーキングは、秋頃の開催を予定しています。たくさんのご参加お待ちしております。

水辺めぐりウォーキング



▲御伊勢堂川沿いを通り、藤清水へ向かう参加者の皆さん



▲千屋小のドリームトープは、児童の皆さんにとってかけがえのない場所となっています

千屋小学校の校庭内には、町の魚「イバラトミヨ」が観察できるビオトープ（※ドイツ語 Biotope を日本語読みしたもので、直訳すると「生き物がいる場所」）があります。子どもたちは「ドリームトープ」と呼んで、自然や水、生き物などについて学べる空間として大切にしています。

このドリームトープの1年に1回の清掃が6月2日、5年生児童により行われました。今年も土崎地区の北小屋ボランテア（佐々木哲雄会長）やドリームトープを作ったときから協力してくれている建設会社の皆さんが、

ドリームトープをきれいに

水を学ぼう

水環境マイスター養成講座の受講者を募集します

地域の水環境保全活動のリーダーとなる人材を育成するため、「水環境マイスター養成講座」を開講します。単位取得者には修了証書を交付します。町、学校および住民団体等が主催する講演会や学習会等の指導者や支援者として「未来に誇れる美しい郷づくり」に参画して下さる方をお待ちしています。

マイスターまでは考えていないけれど、水環境についてもっと知りたいという向学心に燃えている方も大歓迎です。

回	開催日	時間	会場	開講テーマ/講師
1	7月12日(日)	午後1時から4時	六郷公民館	水を学ぼう 環境カウンセラー 津村 守氏
2	8月9日(日)	午前10時から正午 午後1時から3時		ふるさとの水は安全？ 環境カウンセラー 中村達弥氏、西川裕之氏
3	8月30日(日)	午後1時から5時		近くで見よう！ 沢から川への水環境 (フィールド学習があります) 環境カウンセラー 中村達弥氏、西川裕之氏

申込方法 ● 開催日の1週間前まで住民生活課環境安全班へご連絡ください。

その他 ● 第4回以降の開講案内は、改めて広報でお知らせします。

※2、3回目の講師は、参加人数により変更となる場合があります。

問合せ申込み 役場(千畑庁舎)住民生活課 環境安全班 ☎0187(84)4903

池の中の落ち葉や泥を取り除いたり、池のまわりにチップを敷いたり、池の中の生き物を網ですくいあげたり、水とふるさとの大切さの話をしてくれたり、身近な自然生態系の観察空間づくりを手伝ってくれました。

すくいあげたイバラトミヨは170匹以上。他にイモリやエビ、ヤゴなどたくさん生き物の発見もあり、みんなすつかりきれいになった池に戻された。気持ちよさそうに泳いでいました。